

危機管理展で 地域防災PR

カグラバーパーテック



オートガスの自家スタン
ド「オートコンポ」を製造・
販売するカグラバーパーテ
ック(兵庫県尼崎市、玉井健
社長)は2日から4日まで
東京ビッグサイトで開かれ
た「危機管理産業展」に出展
し、「災害時でも『食品・水

・インフラ事業」が事業継
続できるしくみ」と題し新
規事業部の久保愛美さんが
プレゼンテーション、LP
ガスバイフューエル自動車
とオートコンポの導入で地
域防災に貢献するしくみを
アピールした。写真。災害

時に供給が途切れないLP
ガスの特性、国土強靱化計
画ではLPガスとLPガス
自動車が必要なインフラ、
輸送用燃料と位置付けられ
ていることなどを説明。オ
ートコンポは補助金が活用
でき、設置場所を選ばず、
維持管理コストが安く、身
近な場所で車に供給できる
魅力をPR。発電機や炊き
出しセットなどを備えるこ
とで災害時でも稼働しタク
シーなどによる救援活動を
支えるだけでなく、地域の
防災拠点として活躍するこ
とができる、とした。

2019年10月7日(月)付
東京交通新聞